

令和5年度第1回大船渡市スポーツ推進審議会

日時 令和5年11月30日(木)午後10時～午後12時
場所 シーパル大船渡 2階会議室
出席者 大船渡市スポーツ推進審議会委員 6人
伊勢良行委員、熊谷侑希委員、栗村安弘委員、新沼良治委員、渡邊千鶴委員、
渡辺信子委員
大船渡市
協働まちづくり部長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、スポーツ推進係

〔会議内容〕

1 開 会

2 協 議

第1号 大船渡市スポーツ推進計画の評価・検証について
事務局より、資料1、資料2、資料3のとおり説明した。

〈意見・質疑応答〉

- ◇ 【資料1】大船渡市スポーツ推進計画の進捗状況の評価・検証について
 - ・ 特になし

- ◇ 【資料2】スポーツ推進計画に掲げる主な事業及び実績（令和4年度）について
 - ・ （熊谷侑希委員）市民体力測定会の参加者の高齢者の割合はどのくらいか。
 - （生涯学習課長）手元に内訳がないので、後ほどお知らせする。
 - ・ （新沼良治会長）市民体力測定会は、他の事業と比べて参加者が少ないように見えるが。
 - （生涯学習課長）ここ数年、コロナ禍で小規模に開催せざるを得なかった面もあるが、高齢者や働き手世代のスポーツ環境の充実は課題の一つと認識しているので、今後活性化に向け検討していく。
 - ・ （新沼良治会長）スポーツ少年団の登録数が45団体ということで、結構な数字だと感じたがいかがか。
 - （生涯学習課長）当市だけでなく、他の市町村でも言えることだが、子供の数が減っているの、20年くらい前と比べると少し減ってきている。
 - ・ （新沼良治会長）どこの市町村も人口減ということで、いつも人手不足の話になるが、いつまでも昔の人数を追ってではダメだと思う。人口が減っている状況では、どの団体でも人が足りなくなるので、いかにその中で活動していくかを考えていかなければならない。

- ・ (新沼良治会長) 全国大会に出場した競技は何か。
- (生涯学習課長補佐) 野球、柔道、空手、ソフトテニス、陸上競技が主な競技である。
- ・ (新沼良治会長) スポ少関係か。
- (生涯学習課長補佐) 小学校、中学校、高校である。
- ・ (新沼良治会長) 体育功労者等懸賞事業で最高位の賞は何か。
- (生涯学習課長) 最高位というよりはカテゴリー分けされているものであり、功労賞は永年勤続表彰のようなもので、栄光賞は全国大会・県大会で優秀な成績を収めた者が対象となる。
- ・ (新沼良治会長) スポーツ人口が減少する中の一つの取組として、子どもたちの練習に付き添いで来た親たちに、子どもたちがやっているスポーツを体験させる動きがある。例えば、ラグビーのスポ少に来た親たちにラグビーを体験させることは可能か。
- ・ (熊谷侑希委員) 出来ると思う。
- ・ (新沼良治会長) 子どもたちがやっているスポーツを体験させ、親たちを巻き込んでいくことでスポーツの普及を図っていくことも考慮に入れてほしい。
- ・ (栗村安弘委員) ポートサイドバレーボール大会が開催されるのは、地域の子どもたちや協会にとって助かる。当日は、コロナで欠場するチームがあったので、まだまだコロナの影響はあるなど感じている。
- ・ (新沼良治会長) オンライン陸上クリニックは、15人しか参加しなかったようだがもったいないと感じた。走りは全ての競技につながるものと思うのだが。
- (生涯学習課長) 部活動の地域移行の関係で特設陸上部というのを開設し、そこに参加している生徒で開催した。誰でも参加できたが、野球やサッカーといった他の競技の生徒には関心を持ってもらえなかった。内容が陸上に関する専門的なものとなったので、このような結果になったと考えている。
- ・ (新沼良治会長) 競技力の向上のため、オンライン陸上クリニックやデンソーテンレッドフェニックスバレーボール教室などの招聘事業的なものを大事にしてほしい。
- ・ (新沼良治会長) ゲートボールは衰退気味か。
- (生涯学習課長) 最近はグラウンドゴルフに移行しているようである。
- ・ (新沼良治会長) スポーツ少年団指導者研修会は、種目毎の技術講習会のようなものを検討しても良いと思う。
- (生涯学習課長) スポーツ協会と相談しながら対応したい。また、スポーツの技術的・戦術的な面だけではなく、時代背景が変わってきていることから、精神面・モラル面での指導も必要と認識している。

◇ 【資料3】大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和4年度）

【資料3(1)について】

- ・ (渡邊千鶴委員) 中学校の部活動指導員を5名配置したとあるが、学校からの要望が5名だったのか、それとも対応できる方が5名だったのか。
- (生涯学習課長) どちらとも言える。学校と教育委員会で調整しながら進めているが、なかなか希望通りにならないことから、このような形になっている。
- ・ (渡邊千鶴委員) 中学校の部活の指導者がいないという話はよく聞く。また、指導者をやってもいいけど、その時間は行けないという人が結構いるので、そういう点で競技力の向上が難しいのかなと感じた。
- (生涯学習課長) サラリーマンだと勤務時間の関係もあり、部活動の時間に合わないことから悩ましいところである。なので、教育委員会でも希望通りに配置できないよう

である。

- ・（渡邊千鶴委員）スポーツ少年団の指導者に関することは、どこに相談すれば良いのか。指導者に対する色々な意見があるのだが、どこに言えばいいかわからないという話をよく聞く。
- （生涯学習課長）スポーツ少年団の本部はスポーツ協会の中にあるので、基本的にはスポーツ協会の対応となるが、まずはそのスポーツ少年団で話し合いを持って、それからスポーツ協会に相談してほしい。
- ・（栗村安弘委員）スポーツ協会としては、役員会等でそのような話が出ることもあるが、正直、その団体に対し指導とか是正とか言えないところもある。
- （生涯学習課長）スポーツ少年団内部の問題なので、スポーツ協会に相談してもすぐに解決に結びつくわけではなく、難しいと思う。父母会・育成会で話し合いをするのが良いのではないか。
- ・（栗村安弘委員）代わりの指導者を派遣してほしいなどの相談は実際に受けているので、スポーツ協会に相談しても良いと思う。
- （生涯学習課長）昔のように指導者が強い権力を持つことは時代に合わなくなってきているので、モラル面なども含めて指導者の育成に取り組む必要があると考えている。

【資料3(2)について】

- ・（伊勢良行委員）施策進捗度の評価は、何を基準に評価しているのか。コロナ禍前と現在を比較するような表現になっており、具体的な目標の数字が出ていない。どのような評価方法をしているのか。
- （生涯学習課長）評価方法については、まだ試行錯誤の状態であり、この様式が現時点で一番説明しやすいと考えたところである。「3指標達成状況と進捗度評価」は、市スポーツ推進計画にある指標を用いており、コロナ禍の影響を加味した評価になっている。また、「2基本施策の進捗状況・実績」は、コロナ禍にあったものの、事業を実施して成果があったと判断したものに○△を付けたものである。これらを踏まえて全体的に評価し、ABCを付けている。
- ・（伊勢良行委員）目標値が示されていない中で実績だけを並べられても、我々には評価が難しい。評価シートの中に説明がないと、実際には評価できないのではないか。
- （生涯学習課長）事業毎に実行委員会等で目標と実績を出しているが、評価シートに盛り込むと長くなるのでこのような記載とした。今後は皆様に分かりやすい形に見直したいと思う。

【資料3(3)について】

- ・（熊谷侑希委員）スポーツ少年団の登録が45団体に対し、スタートコーチ資格取得の受講者が18人なので少なく感じた。たしか有効期間が1年だったと思うが。
- （生涯学習課長）スポーツ少年団のコーチの資格は数年ごとに制度が変わるらしく、このことも浸透しない理由のようである。また、競技に関することだけを教えれば良いと思っている方もいるので、そのような意識を変えていかなければと考えている。市が実施する指導者研修会の場などで普及を図っていきたい。
- ・（熊谷侑希委員）県の指導者講習会では、LGBTQへの対応、更衣室・トイレの問題、熱中症、脳震盪に関する勉強会もあるので、市の方でもあれば良いと思う。
- （生涯学習課長）時代とともに指導者に求められることが多くなってきているので、それらに対応できるよう今後の取組の中で検討していきたい。

- ・（渡辺信子委員）指導者と話したことがあるが、スポーツに関わる子どもたちも多様化しており、技術面だけではなく心を育てる部分で何か必要だと感じているとのこと。なので、指導者研修会の項目に、児童の発達支援も加えると良いと感じた。

もう一点は、市内の小学校陸上記録会の件だが、会場が綾里地区の三陸総合運動公園のグラウンドなので市内各校からバスで集まるのだが、昨今のバス料金の高騰で大変苦慮している。教育委員会にスクールバスを出してほしいと要望するが毎回断られている。小体連としても常に市に対し発信しているが、皆さんにもこの現状をわかってほしい。

- （生涯学習課長）指導者の育成について、皆さんの関心がすごく高いことを実感した。今回出された意見も踏まえて、スポーツ協会と情報共有しながら今後の在り方を考えていきたい。

スクールバスの件は答えられる立場にないので、今回の話は教育委員会に伝える。学校の方からも教育委員会に交渉や相談をお願いしたい。

- ・（新沼良治会長）小学校陸上記録会の夏の開催についてはいかがか。

- （生涯学習課長）熱中症アラートが多発する時代になったと認識しており、教育委員会でも開催時期を検討するようになるのではないかと思う。スクールバスの件と同様に、この件も教育委員会に伝える。

4 その他

事務局から、令和5年度における以下の取組について報告。

- ・ 三陸・大船渡パーフェクトナイター
期日：令和5年8月2日（水）／ 場所：ZOZOマリンスタジアム
- ・ デンソーテンレッドフェニックスバレーボール教室
期日：令和5年5月5日（金・祝）／ 場所：大船渡市民体育館

- ・（協働まちづくり部長）本日の会議では様々な意見をいただいたが、今後の事業展開につなげていきたい。

評価の方法については、昔は数字が大きいと良いとされたが、最近は人口減少・少子化ということで、効果や満足度の指標で判断いただいている。今年度は評価の理由も盛り込んだところだが、適切な評価につながるよう工夫していきたい。

スポーツ事業については、スポーツ協会をはじめ関係者からの意見を取り入れながら、人口減少の中で効果的な展開ができるよう進めていきたい。

5 閉会